

# 第29回市川市行徳臨海部まちづくり懇談会

日時 平成22年6月22日（火）

18:30～20:00

会場 行徳文化ホール I & I 大会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 報 告

#### (1) 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| ア) 主な経緯と今後の予定について        | 資料—1 |
| イ) 三番瀬再生会議の事業内容等について     | 資料—2 |
| ウ) 市川漁港整備計画の概要について       | 資料—3 |
| エ) 地域コミュニティゾーン整備事業について   | 資料—4 |
| オ) 東浜1丁目地先の人工干潟に係る現状について | 資料—5 |
| カ) 県事業の動向（市川航路の浚渫計画）について | 資料—6 |
| キ) 前回の懇談会で指摘された資料について    | 資料—7 |

### 3. その他

### 4. 閉 会

## 第29回市川市行徳臨海部まちづくり懇談会委員名簿

平成22年6月22日現在

分野	氏名	所属・専門	出欠
学識者	西村 幸夫	東京大学 工学部 教授	○
	風呂田 利夫	東邦大学 理学部 教授	×
自治会	花見 敬一	行徳地区自治会連合会 会長	×
	歌代 素克	南行徳地区自治会連合会 会長	○
市民団体	佐野 郷美	市川緑の市民フォーラム 事務局長	○
	安達 宏之	特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター 広報	×
	丹藤 翠	行徳まちづくりの会 代表	○
	東 良一	特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会 理事長	○
漁組	藤原 孝夫	市川市行徳漁業協同組合	○
	及川 七之助	南行徳漁業協同組合 専務理事	○
企業・関係機関	佐々木 洋晁	市川市塩浜協議会 まちづくり委員会 事務局長	○
	高根 英樹	社団法人 市川青年会議所 理事長	○
	門田 高朋	独立行政法人 都市再生機構 千葉地域支社 都市再生業務部市街地整備チーム チームリーダー	○
	土屋 光博	市川市 副市長	×
公募	川口 勲	市川市民	○

(敬称略)

## ア) 主な経緯と今後の予定について

## 主な経緯 (H22. 3. 25 以降)

平成22年6月22日

年月日	内 容
平成22年	
3月25日	第28回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催（市川市）
5月28日	第30回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県）
6月21日	第15回「三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会」開催（千葉県）
6月22日	第29回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催（市川市）

## 今後の予定

年月日	内 容
平成22年	
6月30日	第30回「三番瀬再生会議」開催（千葉県）
7月下旬	第31回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県）
8月下旬	第32回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県）
9月21日	第31回「三番瀬再生会議」開催（千葉県）
9月下旬	第33回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県）
10月下旬	第34回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県）
11月下旬	第35回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県）
12月	第30回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催（市川市）
12月21日	第32回「三番瀬再生会議」開催（千葉県）

## イ) 三番瀬再生会議の事業内容等について

## 三番瀬に係る千葉県による施策及び取り組み

(県の三番瀬のホームページより)

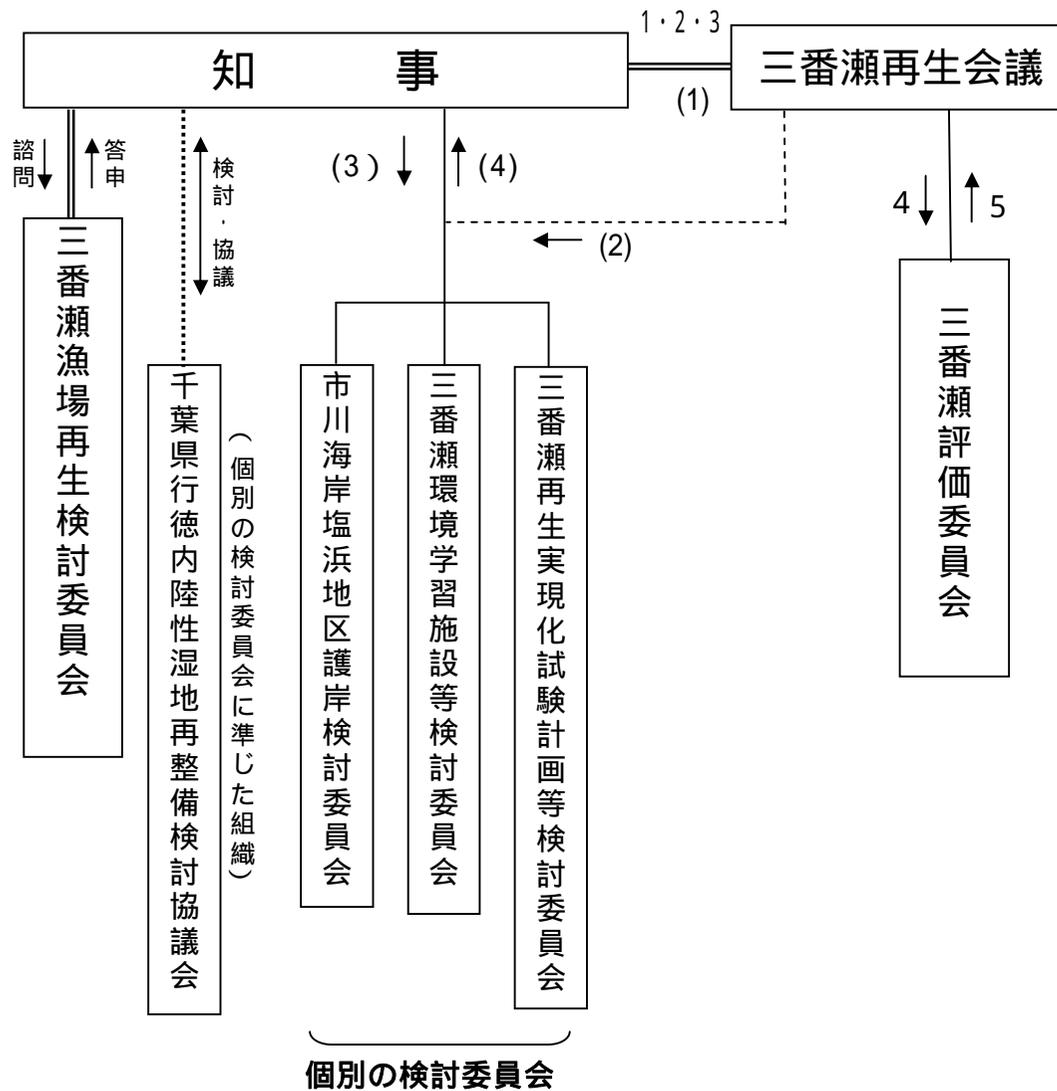
[http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/b\\_soukei/sanbanze/index-2sesaku-j.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/b_soukei/sanbanze/index-2sesaku-j.html)

(事業名)	(時間軸の整理)
1. 干潟的環境（干出域等）形成の検討・試験	中期的事業
2. 淡水導入の検討・試験	〃
3. 行徳湿地再整備事業	緊急・早期着手事業
4. 三番瀬自然環境調査事業	継続的事業
5. 生物多様性の回復のための目標生物調査事業	緊急・早期着手事業
6. 豊かな漁場への改善方法の検討	中期的事業
7. アオサ対策	継続的事業
8. 藻場の造成試験	緊急・早期着手事業
9. ノリ養殖管理技術の改善	継続的事業
10. 高水温耐性ノリ品種の改良	緊急・早期着手事業
11. アサリの資源生態に関する総合調査	継続的事業
12. アサリ生産対策	〃
13. 漁業者と消費者を結ぶ取組	〃
14. 海老川流域等の自然な水循環系の再生	〃
15. 三番瀬周辺の県の管理する河川再生の検討	中期的事業
16. 合併処理浄化槽の普及	継続的事業
17. 産業排水対策	〃
18. 流域県民に対する啓発	〃
19. 江戸川左岸流域下水道事業	〃
20. 総合治水対策特定河川事業	〃
21. 青潮関連情報発信事業	〃
22. 市川市塩浜護岸改修事業	緊急・早期着手事業
23. 護岸の安全確保の取組	〃
24. 自然再生（湿地再生）事業	中期的事業
25. 三番瀬周辺区域における調和のとれたまちづくりの取組	〃
26. ルールづくりの取組	〃

- 27. 環境学習・教育事業 . . . . . 緊急・早期着手事業
- 28. 三番瀬人材バンク事業 . . . . . 緊急・早期着手事業
- 29. 三番瀬パスポート制度（仮称） . . . . . //
- 30. 三番瀬の維持・管理活動の支援 . . . . . 継続的事業
- 31. ビオトープネットワーク事業 . . . . . 中期的事業
- 32. モニタリング方法、指標づくりの検討事業 . . . . . 緊急・早期着手事業
- 33. 三番瀬自然環境合同調査実施事業 . . . . . //
- 34. 三番瀬自然環境データベース構築事業 . . . . . 継続的事業
- 35. 三番瀬の再生・保全・利用のための条例の制定 . . . . . //
- 36. ラムサール条約への登録推進 . . . . . //
- 37. インターネットなどによる情報発信 . . . . . //
- 38. 広報拠点活用事業 . . . . . //
- 39. 三番瀬フェスタ開催事業 . . . . . //
- 40. 三番瀬再生活動への支援 . . . . . 緊急・早期着手事業
- 41. 三番瀬再生クラブ（仮称）への設立 . . . . . //
- 42. 三番瀬再生キッズ育成事業 . . . . . 緊急・早期着手事業
- 43. 三番瀬再生の広報に係る標語・図案等の検討 . . . . . //
- 44. 国・関係自治体等との連携による広域的な取組 . . . . . 継続的事業

（以上 44事業）

# 三番瀬関連組織の位置づけについて



## 再生会議・評価委員会の流れ

- 1 再生計画について諮問・答申（設置要綱2条(1)）
- 2 重要事項について説明・意見（設置要綱2条(2)）
- 3 実施事業の内容や環境影響についての検討状況の報告・意見（設置要綱2条(3)）
- 4 必要に応じ専門的な検討を指示（設置要綱7条）
- 5 検討結果報告

## 個別の検討委員会の流れ

- (1) 個別の検討委員会の設置及び検討結果等について説明・意見
- (2) 再生会議委員が個別の検討委員会に委員として参加
- (3) 必要に応じて「個別の検討委員会」を設置し、施策別の事業計画案等の検討依頼
- (4) 検討結果の報告

## 三番瀬評価委員会について

（「三番瀬再生会議設置要領」より）

評価委員会は、三番瀬再生会議の指示に基づき、次の事務を行うものとする。

- (1) 自然環境の定期的なモニタリング手法の検討及びモニタリング結果に基づく三番瀬の全体の影響の評価
- (2) 再生事業の実施に伴う周辺環境への影響予測、モニタリング手法に対する意見及びモニタリング結果に基づく影響の評価
- (3) 評価に基づく再生事業の継続の適否について三番瀬再生会議への報告
- (4) その他再生事業についての専門的な分野における助言

## 三番瀬再生会議 委員名簿

(任期:平成20年12月27日～平成22年12月26日)

No	分類	分野	氏名	所属・役職名
1	学識経験者	都市計画	大西 隆	東京大学大学院 教授
2	学識経験者	保全生態学・環境教育	吉田 正人	江戸川大学 教授
3	学識経験者	海洋環境	細川 恭史	(財)港湾空間高度化環境研究センター 専務理事
4	学識経験者	鳥類	蓮尾 純子	(財)日本野鳥の会 評議員
5	学識経験者	環境政策	倉阪 秀史	千葉大学 教授
6	学識経験者	底生生物	清野 聡子	東京大学大学院 助教
7	学識経験者	海岸工学	遠藤 茂勝	日本大学 教授
8	学識経験者	海洋生態	市川 忠史	(独)水産総合研究センター 室長
9	学識経験者	都市計画・景観	宮脇 勝	千葉大学 准教授
10	学識経験者	漁業	工藤 盛徳	東海大学 名誉教授
11	地元住民	市川市	歌代 素克	市川市南行徳地区自治会連合会 会長
12	地元住民	船橋市	本木 次夫	船橋市自治会連合協議会 副会長・事務局長
13	地元住民	習志野市	木村 幸雄	習志野市連合町会連絡協議会 副会長
14	地元住民	浦安市	岡本 孝夫	浦安市自治会連合会 代表
15	公募委員		川瀬 美幸	柏市在住
16	公募委員		後藤 隆	浦安市在住
17	公募委員		松崎 利光	市川市在住
18	漁業関係者	船橋市漁業協同組合	大野 一敏	船橋市漁業協同組合 代表理事組合長
19	環境保護団体		上野 菊良	浦安三番瀬を大切に作る会
20	環境保護団体		竹川 未喜男	千葉の干潟を守る会
21	環境保護団体		三橋 福雄	千葉県不動産コンサルティング協会
22	地元経済・産業界		佐藤 フジエ	千葉県商工会議所女性会連合会 副会長

会長、 副会長

別表 1

## 平成 22 年度市川海岸塩浜地区護岸検討委員会委員名簿

(敬称略・委員長及び行政関係者以外は 50 音順)

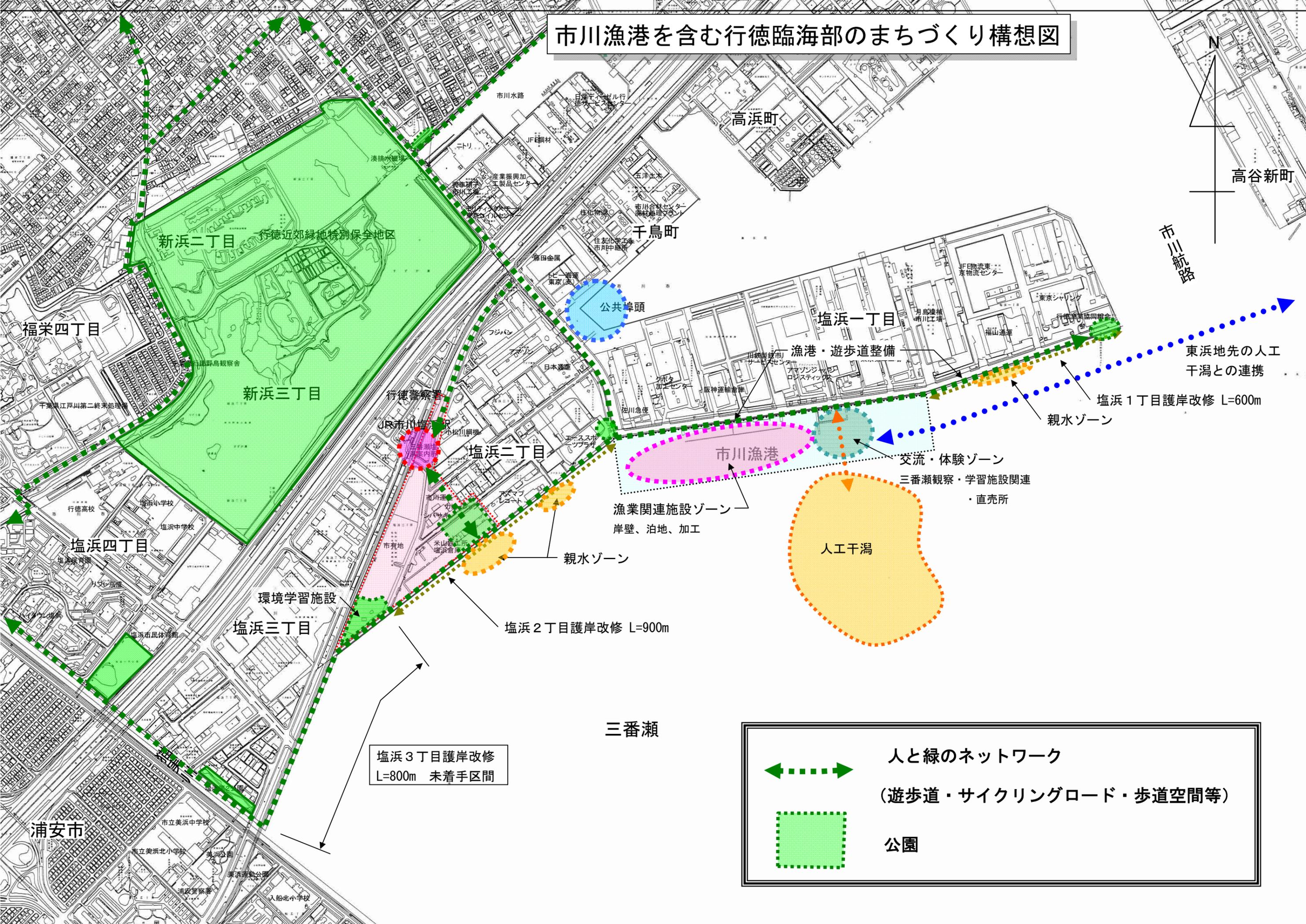
No	区 分	氏 名	所 属 ・ 職 名 ( 専 門 ) 等
1	学 識 者	委員長 遠藤 茂勝	日本大学・教授(海岸・港湾工学)
2		委員 工藤 盛徳	東海大学・名誉教授(漁業)
3		委員 倉阪 秀史	千葉大学・教授(環境政策)
4		委員 榊山 勉	(財)電力中央研究所・上席研究員 (海岸工学)
5		委員 清野 聡子	九州大学大学院 准教授(底生生物)
6		委員 宮脇 勝	千葉大学大学院・准教授(都市計画・景観)
7	漁業関係者	委員 及川 七之助	南行徳漁業協同組合・専務理事
8		委員 澤田 洋一	市川市行徳漁業協同組合・会計理事
9		委員 中村 泰利	船橋市漁業協同組合・常務理事
10	環境保護団体	委員 上野 菊良	浦安三番瀬を大切にする会
11		委員 竹川 未喜男	千葉の干潟を守る会
12		委員 三橋 福雄	千葉県不動産コンサルティング協会
13	地元住民	委員 歌代 素克	市川市南行徳地区自治会連合会・会長
14		委員 後藤 隆	三番瀬再生会議・公募委員
15		委員 佐々木 洋晃	市川市塩浜協議会まちづくり委員会・事務局長
16		委員 松崎 利光	三番瀬再生会議・公募委員
17	行政関係者	委員 田草川 信慈	市川市行徳支所・支所長
18		委員 赤塚 稔	千葉県総合企画部・理事
19		委員 大林 正章	千葉県県土整備部河川整備課・課長
20		委員 大野 二三男	千葉県県土整備部河川環境課・課長
21		委員 齋藤 甚一	千葉県葛南地域整備センター・所長

別表 2

## 平成 22 年度市川海岸塩浜地区護岸検討委員会事務局員名簿

No	区 分	氏 名	所 属 ・ 職 名
塩浜 2 丁目, 3 丁目事務局			
1	事務局長	中山 拓也	千葉県県土整備部河川整備課・海岸砂防室長
2	局 員	石井 光男	千葉県県土整備部河川整備課・副主幹
3	局 員	白藤 徹	千葉県県土整備部河川整備課・主査
4	局 員	保田 英明	千葉県県土整備部河川整備課・副主査
塩浜 1 丁目事務局			
5	事務局長	田島 新二	千葉県総合企画部政策企画課 副参事兼三番瀬再生推進室長
6	局 員	横須賀 努	千葉県総合企画部政策企画課・副主幹
7	局 員	三田 俊雄	千葉県総合企画部政策企画課・主査

# 市川漁港を含む行徳臨海部のまちづくり構想図



**人と緑のネットワーク**  
(遊歩道・サイクリングロード・歩道空間等)

**公園**

塩浜 3丁目 護岸改修  
L=800m 未着手区間

三番瀬

塩浜 2丁目 護岸改修 L=900m

親水ゾーン

漁業関連施設ゾーン  
岸壁、泊地、加工

市川漁港

交流・体験ゾーン  
三番瀬観察・学習施設関連  
・直売所

親水ゾーン

塩浜 1丁目 護岸改修 L=600m

東浜地先の人工  
干潟との連携

## ウ) 市川漁港整備計画の概要について

### 1. 水産業及び漁港の現状

#### ○水産業

本市の水産業は、地先海域を漁場とするノリ養殖業やアサリ漁等の採貝を中心に、東京湾内での小型底引き網漁業などを営んでおり、現在の経営体数87となっております。

水産物の主な出荷先は、千葉県漁連となっております。漁獲量や消費量の減少により、価格の低下が続いている。

#### ○漁港

市川漁港は、市川二期埋立計画を前提に昭和45年から46年にかけて暫定的に整備され、昭和52年に第一種漁港に指定された。

漁港施設用地もなく狭隘で、さらに、整備後40年が経過し、老朽化が著しい状況である。

現在、漁港に係留している漁船数は、140隻で、全隻数263隻の53%しか利用できていない状況である。

### 2. 課題と水産業振興ビジョン

#### ○課題

- ・ 漁場環境の悪化に伴う漁獲量の減少の改善
- ・ 漁業従事者の高齢化及び後継者不足の解消。
- ・ 係留施設や施設用地など漁港施設機能不足の解消。
- ・ 防波堤及び護岸の腐食や老朽化等に危険性のある漁港施設の解消。（一部護岸敷は立ち入り禁止柵を設置）
- ・ 地域特性を活かし、周辺まちづくりと調和のとれた漁港

#### ○水産業振興ビジョンによる将来象

- ・ 安定して継続できる産業環境を備えた水産業
- ・ 新しい時代に対応した経営、魅力のある職場の水産業
- ・ 生産から加工、流通まで一貫した総合産業としての水産業
- ・ 海の自然環境を守り、親水空間を提供する水産業
- ・ 市川の地場産業として市民と共存する都市型の水産業

### 3. 基本方針

#### ○臨海部のまちづくりの方針

#### ●地域のテーマ：地域特性を活かした持続可能なまちづくり

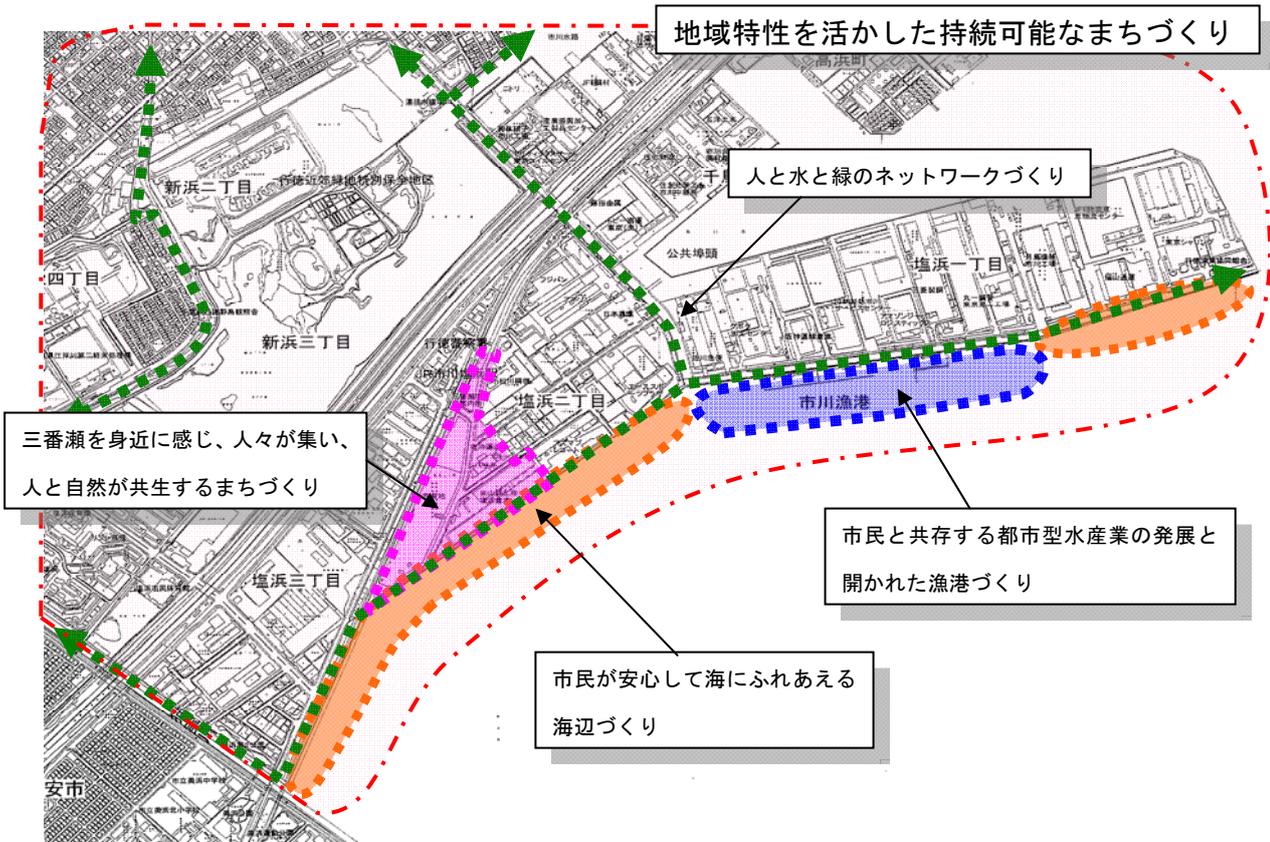
- 塩浜駅周辺地区 「三番瀬を身近に感じ、人々が集い、人と自然が共生するまちづくり」
- 海岸 「市民が安心して海にふれあえる海辺づくり」
- 遊歩道 「人と水と緑のネットワークづくり」

#### ○漁港整備の基本方針

「市民と共存する都市型水産業の発展と開かれた漁港づくり」

- ①安全で夢のある漁港
- ②効率的で利便性に優れた漁港
- ③漁業者と市民が共存、共営する漁港
- ④周辺街づくりと連携する漁港

《イメージ図》



## 4. 基本計画・ゾーニング

### ①漁港整備位置

- ・漁業者の通勤、漁場までの移動の利便性を考慮し、現状の漁港位置及びその近隣地区から複数の候補地を抽出し、操業の安全性や経済性、漁場までの距離など、様々な視点からそれぞれの長所・短所を比較・検討した結果、現漁港区域での整備が最も適した場所となった。
- また、現漁港前面にある人工干潟を活用し、海に親しみ市民と漁業者との交流が図られる市民に開かれた漁港となる。

### ②漁港施設のゾーニング及び機能

- ・漁船と三番瀬関連船舶との航行の安全確保を図るため三番瀬関連船舶の係留施設等を東側に配置
- ・塩浜1丁目親水護岸等との連携や資源である人工干潟の活用と合わせた市民と漁業者との交流広場を東側に配置。

### ○安全で利便性のある充実した漁港機能

- ・漁船が安全に回転できる泊地・漁船が十分に係留できる施設・漁業活動に必要な漁具置場等の施設用地の確保及び整備
- ・静穏度の確保がされ、安心して漁業活動ができるための防波堤や護岸の整備

### ○海に親しみ市民と漁業者が交流できる場の創出

- ・人工干潟への市民等のアクセスのための連絡橋の整備
- ・漁業への理解及び市民と漁業者とのふれあいを促進する交流広場の整備
- ・地元の新鮮な水産物が購入できる直売所の整備

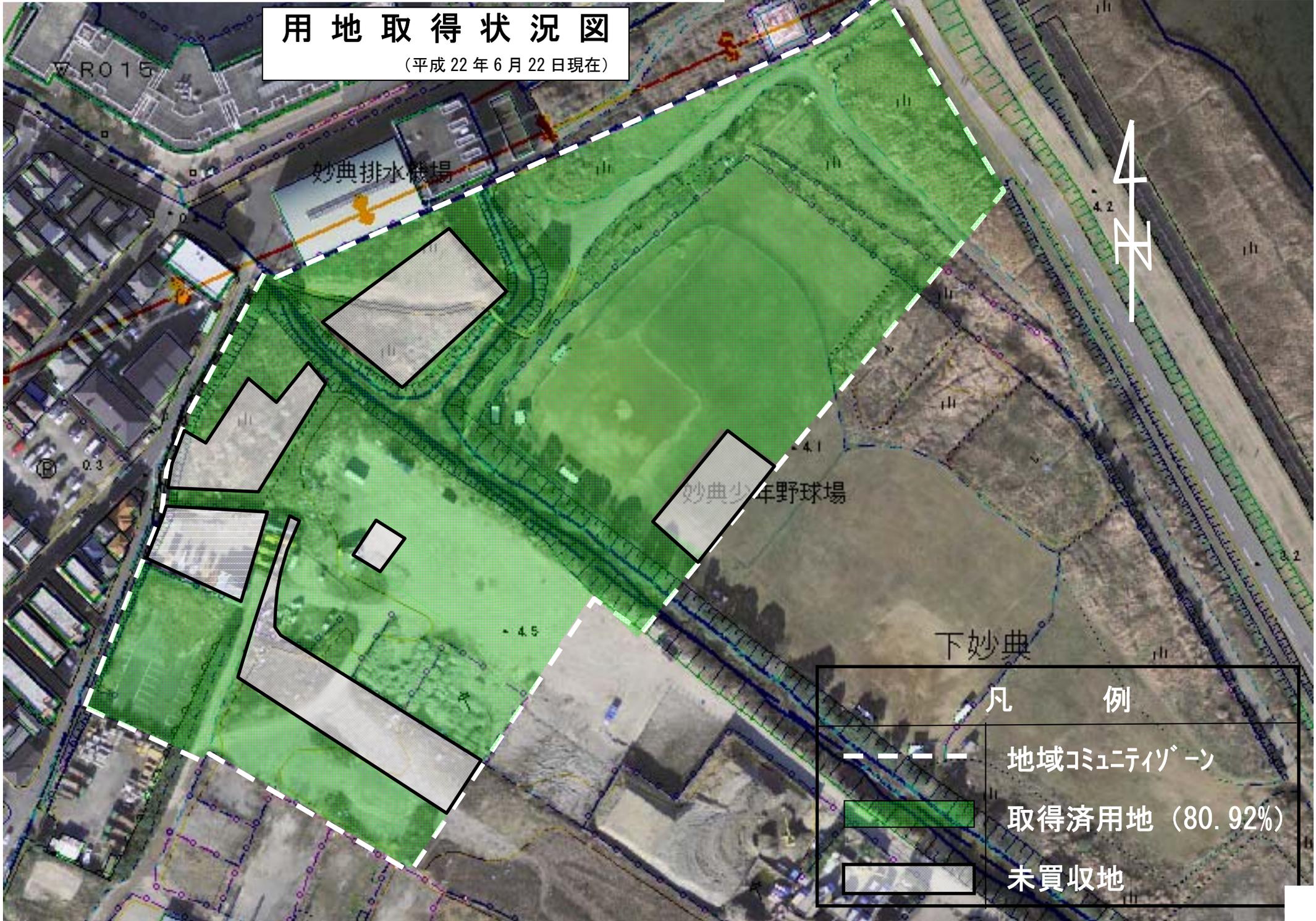
### ○周辺環境を生かした施設整備

- ・護岸整備や塩浜地区のまちづくりとの連携した遊歩道の整備
- ・三番瀬の干潟観察・環境学習、漁業体験・漁場見学等のための三番瀬船舶泊地及び係留施設の整備
- ・東浜人工干潟と連携するための施設整備

# エ) 地域コミュニティゾーン整備事業について

## 用地取得状況図

(平成22年6月22日現在)





市川市立妙典中学校

市川市立塩浜小学校

地域コミュニティゾーン

一期区域

江戸川第一終末処理場

地権者土地活用ゾーン  
⑦ ブロック

地権者土地活用ゾーン  
① ブロック

江戸川

湾岸道路

## オ) 東浜 1 丁目地先の人工干潟に係る現状について

### 1. 概要

- ・平成 24 年度に企業庁は、造成事業部門を収束することから、市川市東浜 1 丁目地先及び船橋市潮見町地先の護岸及び突堤を含む人工干潟をそれまでに関係する機関に移管する必要がある。

### 2. 経緯

市川市東浜 1 丁目地先及び船橋市潮見町地先の市民の海辺（人工干潟）は、企業庁が昭和 54 年度から 56 年度にかけて市川航路の浚渫土砂を使用し、京葉港二期土地造成までの期間、干潟を造成し、潮干狩場として活用、背後（船橋市潮見町）に一般市民のレクリエーションの場として、公園等を整備。

市民の海辺（人工干潟）は、企業庁が港湾管理者の占用許可を得て設置し、その管理及び運営については、船橋市及び市川市と協議することとした。

市川市としては、後背地に公共用地がなく、船橋市においてはすでに確保され、市民の海辺（人工干潟）を含めたレクリエーション施設として計画されていることから船橋市に管理を委託するのもやむをえないと判断した。

### 3. 市川市の方針

- ・本干潟は、市川市地先で唯一、海に接することができる場所であり、海浜植物や底生生物等、自然豊かな場所となっている。（一部野球場として使用）
- ・市川市としては、東浜 1 丁目地先の突堤を含む人工干潟については、帰属を受ける方針を決定した。また、管理・運営方法については、内部での検討を含め、船橋市とも協議する。

### 4. 船橋市及び企業庁への説明

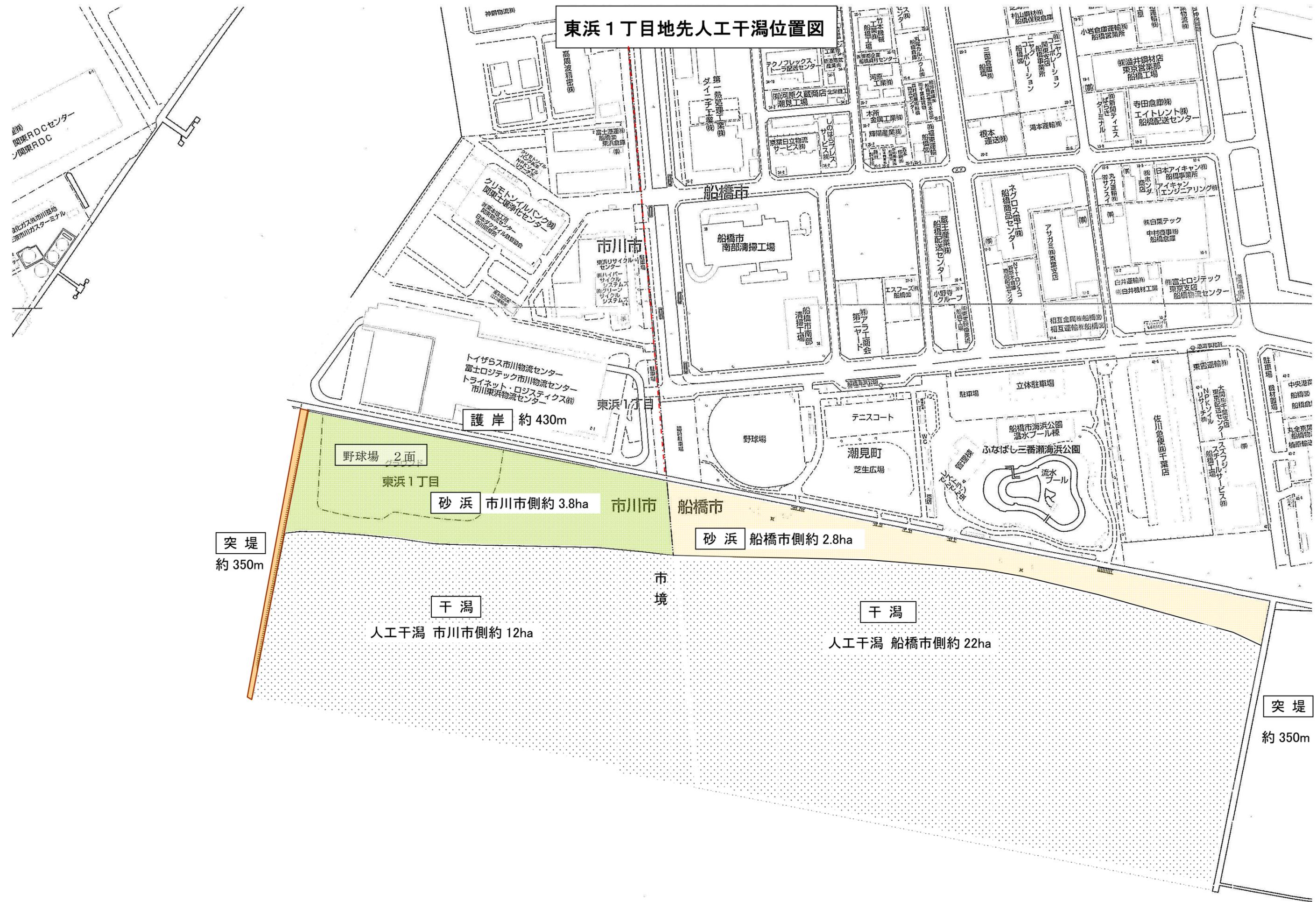
○平成 22 年 5 月 19 日、船橋市に対し「東浜 1 丁目地先の人工干潟及び西側突堤については、市川市としては移管（帰属）を受ける方針である。」ことを説明した。

- ・船橋市は、内部で検討し、市川市に連絡するとのこと。

○平成 22 年 5 月 21 日、企業庁に対し「東浜 1 丁目地先の人工干潟及び西側突堤については、市川市としては移管（帰属）を受ける方針である。」こと及びその旨を船橋市へ伝えたことを説明した。

- ・企業庁は、既に、突堤を含め一体で船橋市へ移管する方針であり、市川市の要請を受け、内部で検討するとのこと。

東浜1丁目地先人工干潟位置図



突堤  
約 350m

野球場 2面

東浜1丁目

護岸 約 430m

砂浜 市川市側約 3.8ha

市川市

船橋市

砂浜 船橋市側約 2.8ha

干潟

人工干潟 市川市側約 12ha

干潟

人工干潟 船橋市側約 22ha

突堤  
約 350m

**カ) 県事業の動向（市川航路の浚渫計画）について**

## 1. 市川航路の浚渫計画

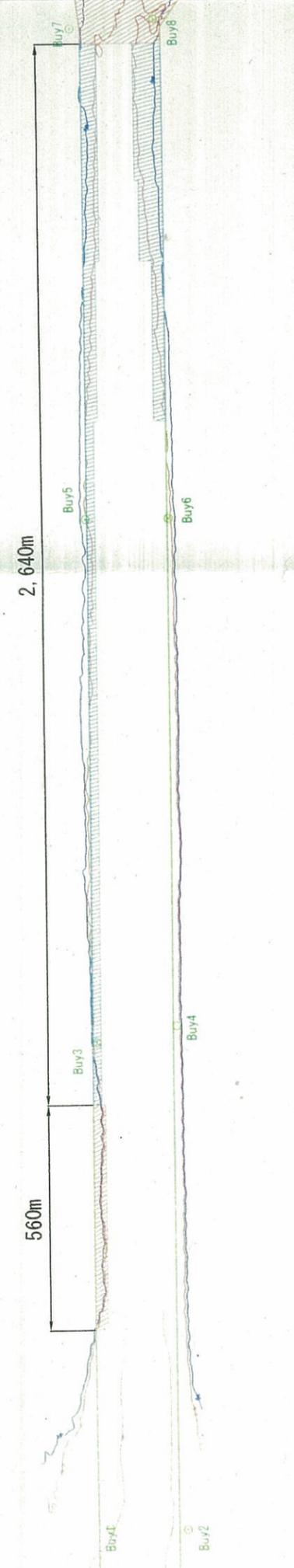
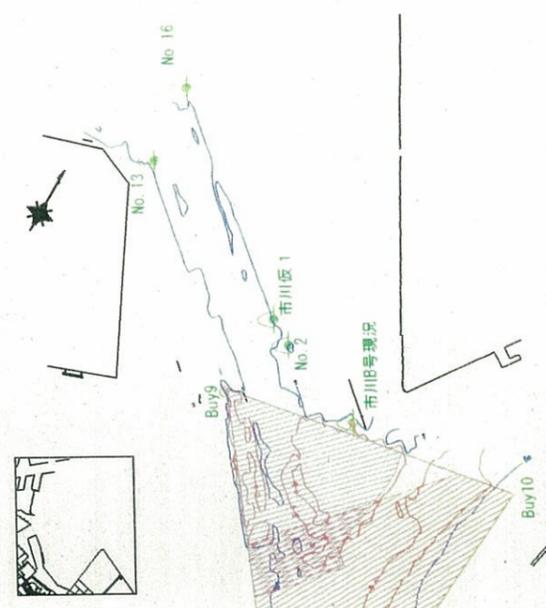
企業庁の造成事業部門の収束から、平成21年度から23年度の3年計画で幅200m、水深－6.5mとなるよう航路の浚渫をすることとなった。

○平成21年度（実績）      約2万9千 $\text{m}^3$       （浦安市沖深掘部に投入）

○平成22年度                      約16万 $\text{m}^3$

○平成23年度                      約10万 $\text{m}^3$ （予定）

2. 市川航路の浚渫土砂を塩浜護岸前面の干潟化や漁場改善に伴う覆砂に活用するように働きかける。

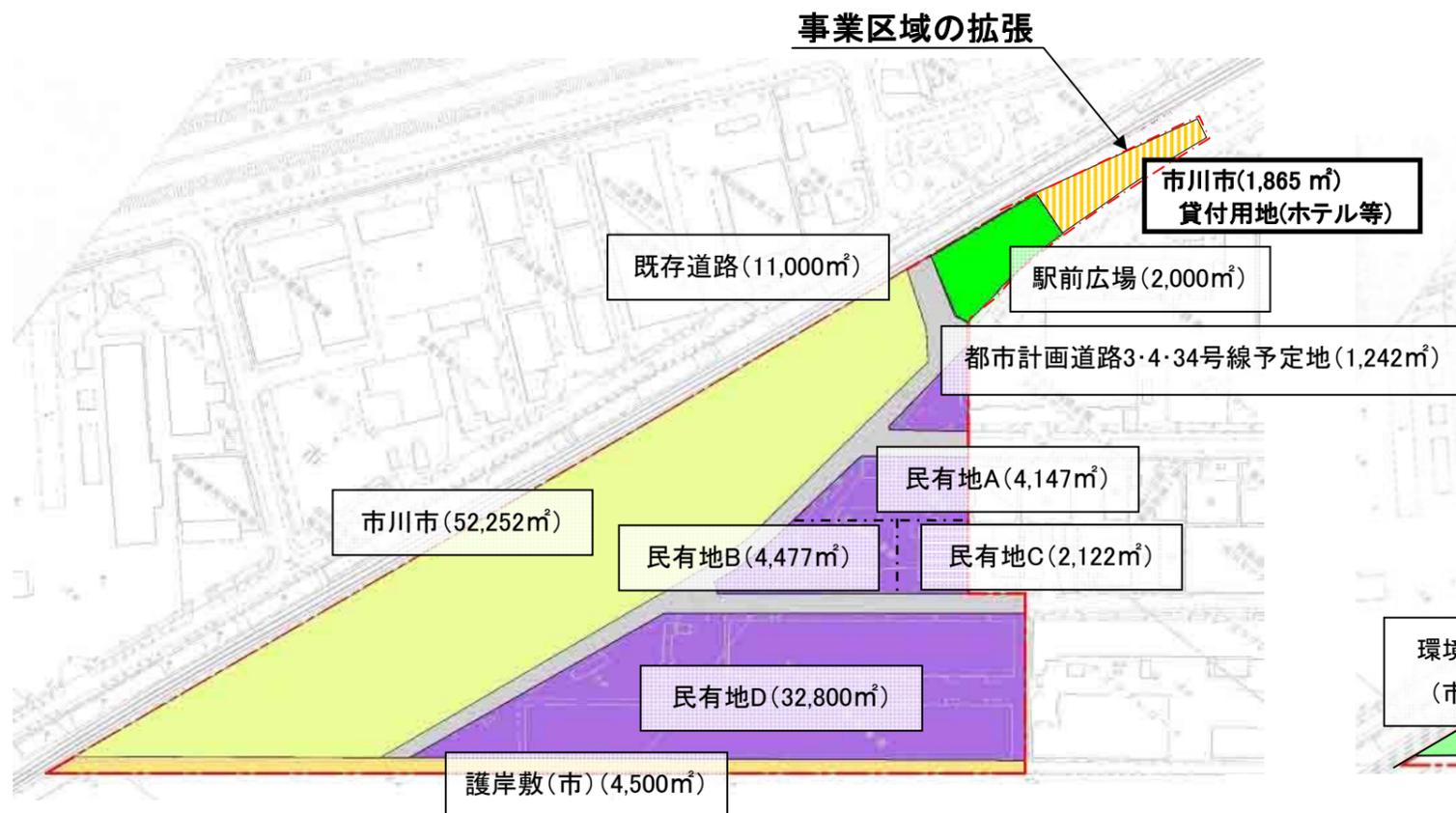


- 
 平成 21 年度 施工箇所
- 
 平成 22 年度 施工予定
- 
 平成 23 年度 施工予定

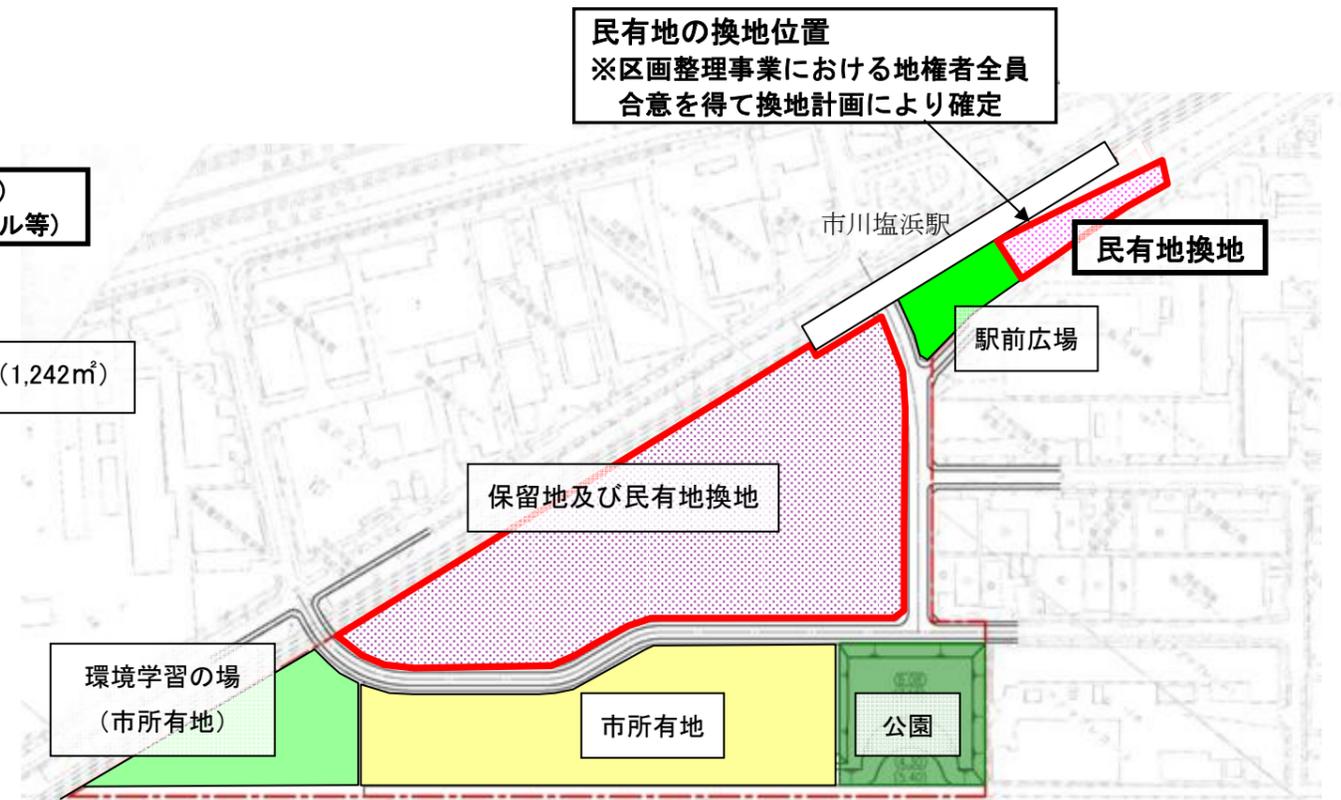


# 塩浜地区整備事業

## 第1期先行地区拡張図



## 換地想定図(案)



名称	現計画 面積(㎡)	拡張案 面積(㎡)
市有地	52,252	54,117
民有地	43,546	43,546
駅前広場	2,000	2,000
既存道路	11,000	11,000
護岸敷(市)、その他	5,742	5,742
計	114,540	116,405